



評便
報知新聞
 第百四十九号

枯樹こじゆ小再びこま花咲はなハ彼開あま花公はな羽はねが
 伎倆ぎりやう又出いでる昔語せうごりに傳つたふ
 を聞きく而のち已やま渡島わたしまの福山ふくやま
 なる杉原すぎはら美農みのうと云いへる挿花さかかを
 以もつて娛樂ごらくとせり西京池さいけいゐの坊四ぼくし
 十二世じふにせい專正坊せんせいぼくの門かどよりあはれびて
 功手こうてに妙あやと得えたりとぞ去いれ弥生やよひ
 五日ごにちよや活いる梅うめの花はな乃ゆ后ご其枝そのえだく
 小實こじつと結むすび漸熟ぜんじやくせりと愛度あいど
 老色らうしき師翁しおん反ひらに聞知きこせるよう
 前号ぜんごうの雀岡すずおかとよるに因よりて
 一首いっしゆを詠よりて賜たまりしとぞ
 鶯岡うらぎと仙人せんじんの似にむる若わかきれや
 玉世たまよのみり此このゆめの梅うめくま

木偶道人誌



並大獲
 第百四十九号
 報知新聞

